

常盤だより

第493号
常盤小学校
常盤幼稚園

読書の秋

校長 浮津 健史

9月から本校で一緒に生活している久松幼稚園の年長さんを迎えて、本校の子どもたちと対面式を行いました。代表委員がお芝居仕立てで学校の約束を紹介したり、「ときまつちゃん」が登場したりと楽しい会となりました。休み時間など、幼稚園のお友達に声をかけたり、様子を見に行ったりする姿が見られ、合同の避難訓練も実施しました。今後交流活動が本格的にスタートしていきます。

さて、先日の国語に関する世論調査の結果、「読書月ゼロ冊」の人が全体の6割を占めているということでした。現在、漫画タイプの小説が増えるなど、文字離れは確実に進んでいます。読書は、「情報収集ツール」であるとともに、読書を通じて様々な疑似体験をすることで人格形成においても重要であると言われています。本校も読書活動の充実を図るため、現在図書館にある蔵書について、専門家に見ていただき、どんな本を図書館におくべきかを検討しています。

深まる秋に、家族で読書に親しむ時間をつくり、読書の楽しさを味わっていただければと思います。

常盤だよりおよび学年だよりについて

10月より、内容をよりわかりやすく、見やすく伝えることを目的に「常盤だより」の紙面構成を工夫しました。（横書きで記載。月行事予定、下校時刻については、各学年でお伝えするのではなく、わかりやすく一覧化しました。）それに伴い、11月以降の学年だよりは発行されませんのでご了承ください。また、11月以降の常盤だよりは、月末に発行いたします。

11月以降の学習予定等は10月の保護者会にてまとめて配布します。また、学期に1回を目安にお子様の様子をお伝えする「学年通信」を発行します。そちらで、日々の生活の様子についてご確認いただければと思います。

ダブルダッチの楽しさを味わう

体育主任 山下 瑛史

9月9日（月）に、ダブルダッチ指導者の八木 裕季様、大学生パフォーマーの方をお招きし、全校児童へダブルダッチの技を披露していただきました。子どもたちは、大学生パフォーマーの逆立ちをしながら縄を跳ぶアクロバティックな演技に身を乗り出していました。ダブルダッチを初めて見る子どもたちも、クールな音楽に乗せて縄を跳ぶダブルダッチの楽しさを味わうことができました。



ようこそ！久松幼稚園のみなさん

教務主任 渡辺 孝

9月10日（火）に、久松幼稚園との対面式があり、6年生が手をつないで入場しました。常盤小学校の児童からは、代表委員会が「学校のきまり」を、劇で分かりやすく伝えたり、全校児童で校歌を披露したりと盛り上げました。久松幼稚園の園児からは、「仲良くしてください。」の言葉と園歌を聞かせていただきました。これからは、久松幼稚園と連携した学習も取り入れていこうと考えております。

